

令和 6 (2024)年9月 記者会見



MIYOSHI CITY
みよし市





MIYOSHI CITY
みよし市

令和 6 年度みよし市 補正予算【案】

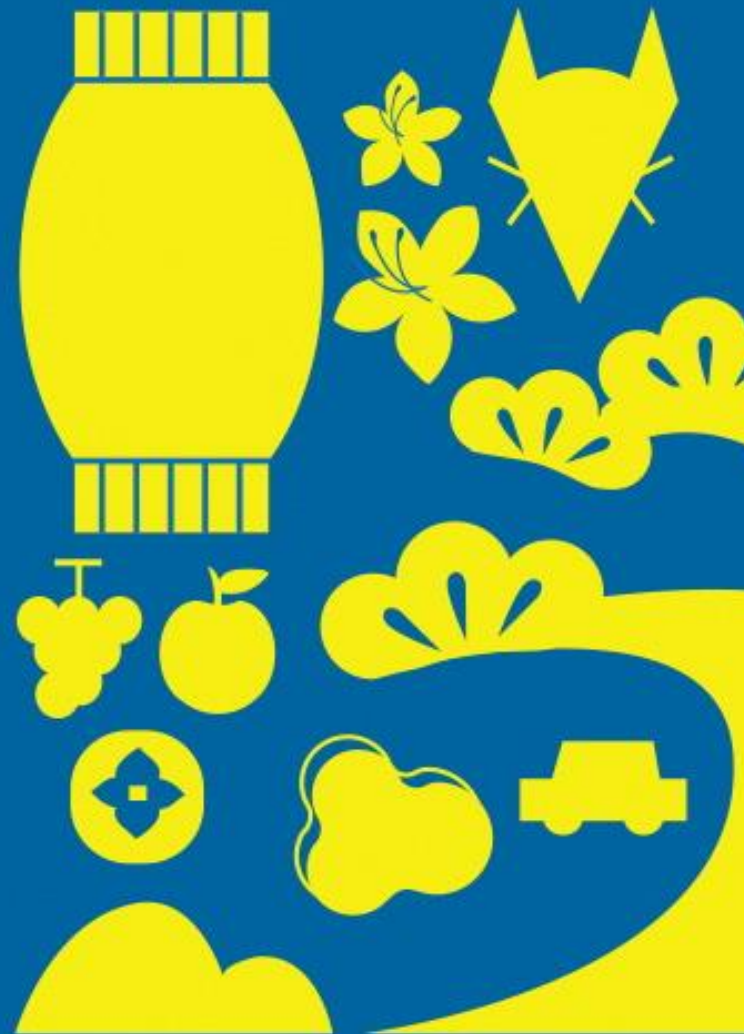
一般会計（第 4 号）

国民健康保険特別会計（第 1 号）

介護保険特別会計（第 1 号）

後期高齢者医療特別会計（第 1 号）

令和 6 (2024) 年 9 月
記者会見



デジタル化推進
ゼロカーボンシティ推進
SDGs 推進

一般会計 歳入歳出補正予算

15億821万2千円

(単位：千円)

項 目	既決予算額 A	補正予算額 B	合 計 A + B	(参考) 当初予算額
一般会計	29,616,683	1,508,212	31,124,895	28,932,000
特別会計	8,284,543	166,830	8,451,373	8,284,543
国民健康保険特別会計	4,459,869	58,000	4,517,869	4,459,869
介護保険特別会計	2,880,291	107,793	2,988,084	2,880,291
後期高齢者医療特別会計	944,383	1,037	945,420	944,383
合 計	37,901,226	1,675,042	39,576,268	37,216,543

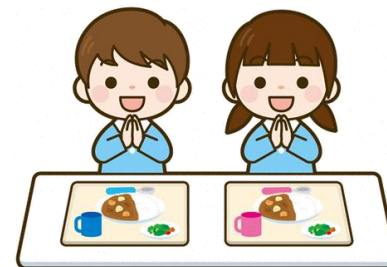


MIYOSHI CITY
みよし市



子育て世帯の経済的負担を軽減するため、 給食費の無償化を実施します

補正額 **1,059万3千円** (小中学校給食支援金)
2,681万円 (保育園・幼稚園給食費無償化事業支援金)
財源更正 **917万2千円** (公立保育園給食費無償化分)



子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6(2024)年度中の
給食費無償化を実施します。

【9月補正予算による給食費無償化の内容】

	保護者軽減額 (年間1人あたり)
金額：幼 児：1人あたり4,200円/月 (1食あたり210円※1) →	61,200円 (210円+45円) ×20日×12月
小学生：1人あたり5,400円/月 (1食あたり300円※2) →	59,400円 300円×198日
中学生：1人あたり6,120円/月 (1食あたり340円※2) →	67,320円 340円×198日

※1：認可外保育園及び企業主導型保育事業所については、物価等高騰分支援金(当初予算)の対象でないため1食あたり255円とする
※2：アレルギー等により牛乳の提供を受けていない者(次ページ①該当者)は、1食あたり66円とする

対象：幼 児：公立保育園、私立保育園、幼稚園、こども園、認可外保育園等の第1子分
小学生・中学生：給食センターからの給食を提供されていない児童・生徒

期間：令和6(2024)年4月～令和7(2025)年3月 (※4月まで遡及適用)



幼児・児童・生徒の給食費無償化の実現

給食費無償化の概要（R6.4月～R7.3月）

小中学校給食支援金給付事業

令和4(2022)年4月～
令和6(2024)年1月～3月
令和6(2024)年4月～
(9月補正予算計上)

物価高騰による給食費上昇分について、保護者負担額を上げず、市が負担
物価高騰対策として給食費無償化を実施（給食センターからの提供分に限定）
給食費無償化を継続して実施（給食センターからの提供分に限定）
現事業の対象となっていない児童・生徒について、令和6(2024)年4月に遡り、給食支援金を給付

≪給食費無償化実施状況(当初予算)≫

(給食センターからの給食を提供している市内小中学校の児童・生徒に限る)

区分	区分	R5. 4～6月	R5. 7～12月	R6. 1～3月	R6当初
食材料費	小学校	260円	290円	290円	300円
	中学校	295円	330円	330円	340円
給食費 (保護者負担額)	小学校	240円	240円	0円	0円
	中学校	270円	270円		
市負担額	小学校	20円	50円	290円	300円
	中学校	25円	60円	330円	340円



≪給食支援金給付の対象(9月補正予算)≫

対象者（9月補正予算対応により給食費無償化する者）	児童数	生徒数
① みよし市立小中学校に就学し、アレルギー等により飲用牛乳措置を受け牛乳の提供を受けていない児童・生徒	45人 (66円/1食)	25人 (66円/1食)
② みよし市立小中学校に就学し、アレルギーにより給食全部の提供を受けていない児童・生徒	2人	1人
③ みよし市立小中学校で給食の提供を受けていないみよし市初期指導教室に通学している児童・生徒	3人	1人
④ 特別支援学校等の小学部及び中学部に就学している児童・生徒	28人	18人
⑤ みよし市立以外の公立小中学校に校区外就学している児童・生徒	5人	4人
⑥ 私立、国立等の小中学校に通う児童・生徒	15人	73人

≪支援金給付方法(9月補正予算分)≫

以下の金額を対象者(保護者)からの申請に基づき給付する。

- ・ 小学校(②～⑥対象者)
1食あたり300円×年198日 = 59,400円
- ・ 中学校(②～⑥対象者)
1食あたり340円×年198日 = 67,320円
- ・ 小中学校(①対象者)
1食あたり66円(牛乳のみ)×年198日 = 13,068円

≪スケジュール≫

区分	令和6(2024)年度				
	9月	10月	11月	12月	R7.1月
案内発送					
申請受付					
支援金給付					

給食費無償化の概要 (R6.4月～R7.3月)

保育園・幼稚園給食費無償化事業

令和5(2023)年4月～ 物価高騰による給食費上昇分について、保護者負担額を上げず、市が負担
第2子以降無償化事業を実施

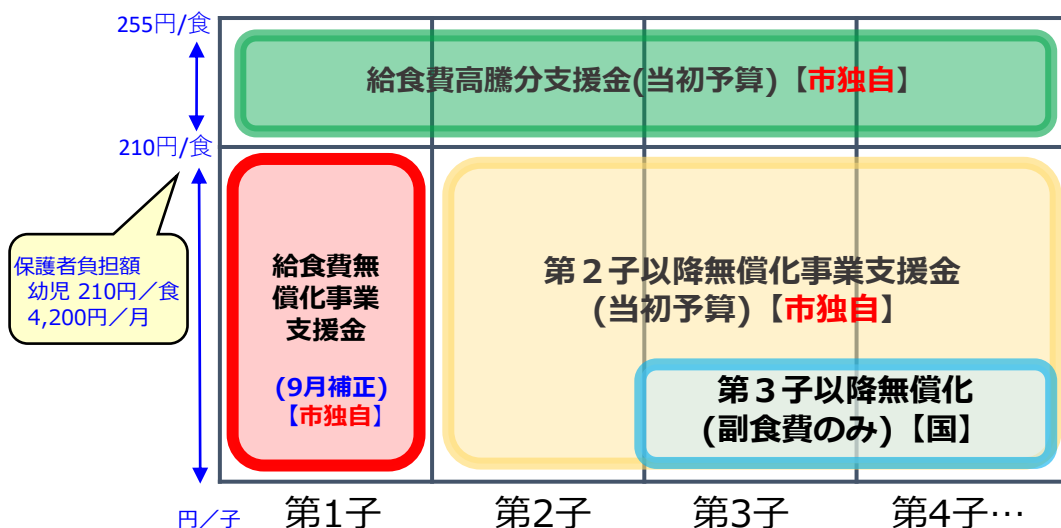
令和6(2024)年1月～3月 物価高騰対策として第1子分給食費の無償化を実施

(9月補正予算計上) 令和6(2024)年4月に遡り、第1子分給食費の無償化を実施

「保育園給食費(幼児)の変遷」※公立保育園ベース

区分	幼児(3歳以上)			
	R5. 4～6月	7～12月	R6. 1～3月	R6.4～ R7.3月 (9月補正対応)
食材料費	225円	250円	250円	255円
給食費 (保護者負担額)	210円	210円	0円	210円 ↓ 0円 (9月補正対応)
市負担額	15円	40円	250円	255円
うち高騰分支援金	—	—	40円	45円

「給食費無償化実施状況」



「無償化実施方法(9月補正予算分)」

○公立保育園

10月以降給食費徴収停止(※4～9月分は歳入還付)
⇒全額公費負担(財源更正)

○私立保育園・認可外保育園・企業主導型保育事業所・幼稚園・こども園

10月以降給食費徴収停止
⇒市から園に5,100円/人月※×12か月を支給する
(※255円/食×20日=5,100円/人月)

区分	令和6(2024)年度	
	4～9月	10月～R7.3月
公立保育園	歳入還付 (市⇒保護者へ返金)	給食費徴収停止
私立保育園等	園⇒保護者へ返金	給食費徴収停止

不妊治療費助成事業を拡充します

補正額 **768万円** (一般不妊治療助成・生殖補助医療助成)

助成対象に**一般不妊治療(保険適用外分)**、**生殖補助医療(保険適用分、先進医療分)**を追加し、不妊治療費を助成します。

【事業概要】

	一般不妊治療		生殖補助医療(先進医療含む)	
	保険診療	保険外診療	保険診療	先進医療(保険外)
現状	補助率1/2 上限10万円	×	×	×
改正後 【9月補正】 (R6.4.1診療分から適用)	補助率 1/2	補助率 7/10	補助率 1/2	補助率 7/10
	上限10万円		上限20万円	

【対象】

令和6(2024)年度分の診療費(R6.4.1診療分から適用)

- ・一般不妊治療の自己負担分
- ・生殖補助医療の保険診療分の一部
- ・先進医療費の一部 ※保険診療の生殖補助医療に合わせて行われた先進医療に限る



プレコンセプションケアを推進します

補正額 **55万円** (Webセミナー業務委託等)

若い男女が将来のライフプランを考えて日々の生活や健康に向き合うため、**プレコンセプションケア**※に関する啓発活動を開始します。

※プレコンセプションケアとは…

「女性やカップルを対象として、将来の妊娠のための健康管理を促す取組」と定義される (成育医療等基本方針より)

【事業概要】① Webセミナーの開催

内 容：看護師等によるプレコンセプションケアをテーマに制作したセミナーの提供(オンライン60分)、アーカイブ動画提供など

開催時期：令和7(2025)年1月頃

配信期間：2か月間(予定)

配信方法：チラシ・広報・ホームページに掲載するQRコードから読み取りZoomウェビナーにて配信

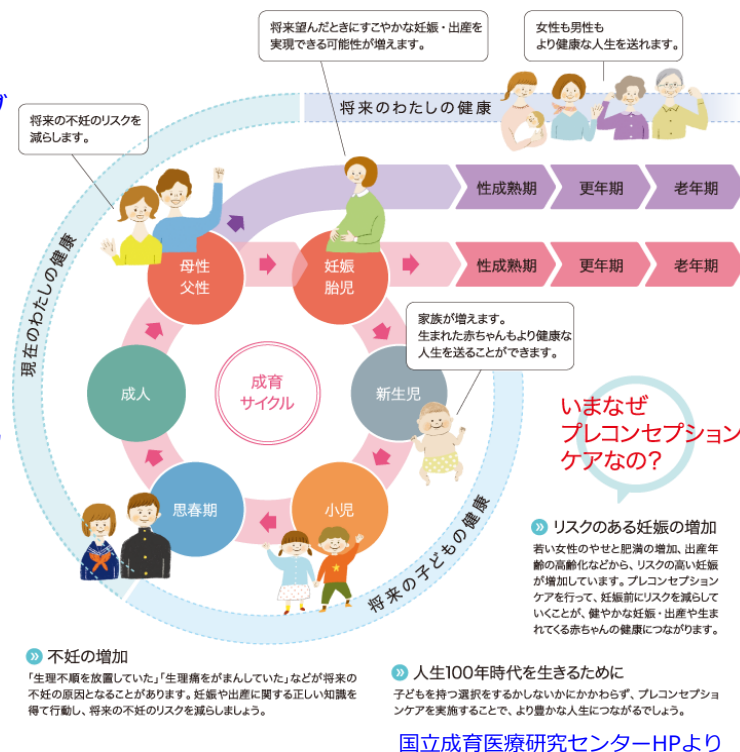
② 成人式・公共施設窓口等でのパンフレットの配布

③ 市若手職員への講習会を開催

④ 広報・ホームページへプレコンセプションケアの内容や動画を掲載

【スケジュール】

	令和6(2024)年度		令和7(2025)年度			
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
Webセミナー		→				→
市民周知	→					
市若手職員向け講習会	→				→	



産後ケア事業の利用件数の増加に伴い、増額補正を行います



補正額 **206万9千円** (産後ケア業務委託)

令和6(2024)年度から、**委託先の産科医療機関・助産院を拡大**したことで、利用者実績が当初予算を上回る予定であることから、委託料の増加分を補正します。

【事業概要】

《内 容》 出産後の心身共に不安定になりやすい時期に、産科医療機関や助産師、自宅において助産師等の専門的なサポートを行うことにより、母親の身体的回復と心理的安定を促進し、安心して育児に取り組める環境を整えます。

《利用対象》 みよし市に住所を有する、産後概ね1年未満のお母さんと赤ちゃん

《支援内容》

宿泊型・デイサービス型

産後の健康管理、乳房ケア・授乳相談、
沐浴やスキンケアの相談、
あかちゃんのお世話の仕方相談 など

訪問型

乳房ケア、授乳相談、
産後の体調管理、健康相談、
あかちゃんの成長や発達の相談 など

R5 3 機関 **拡大** → R6 **9 機関**

介護施設の I C T 見守りシステムの導入を支援するため、補助金を交付します

補正額 **8,382万4千円** (介護施設等整備事業費補助金)

介護施設における大規模修繕にあわせて導入予定の、入居者の異常等を遠隔確認できる、ICTを活用した見守りシステムの設置費用等に対して、補助金を交付します。

【概要】

交付先：市内の介護施設

交付額：定員169人（今回交付予定施設の定員）×補助単価496千円=83,824千円

財 源：愛知県介護施設等整備事業費補助金（補助率10/10）

【I C T 見守りシステムの例】

各居室センサー

座位、離床、
室温、呼吸の状態 など

→ **入居者の異常や予兆を検知**



介護スタッフ

徘徊の早期発見、熱中症・風邪予防
夜間見回り回数の削減、
介護記録補助 など

→ **効果的な介助が可能に**

物価高騰等の影響を受ける幼稚園・こども園を支援します

補正額 **120万円** (物価高騰対策支援金)

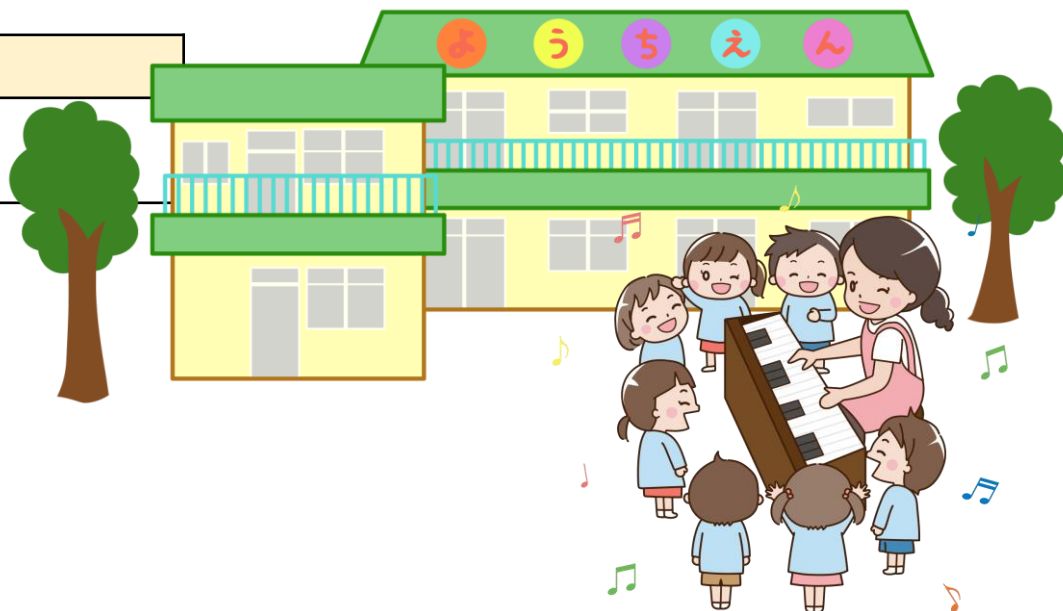
物価高騰や酷暑による支出の増加の影響を受ける市内にある幼稚園に対して、**物価高騰対策支援金**を給付し、質の高い幼稚園教育を継続して提供できるよう支援します。

【支援金の概要】

対象	対象園数	支給額
幼稚園 こども園	6園	1園あたり20万円

【市内幼稚園】

- ・三好桃山幼稚園
- ・三好文化こども園
- ・東山幼稚園
- ・ベル三好幼稚園
- ・三好丘聖マーガレット幼稚園
- ・まこと第二幼稚園



校区変更に伴い通学路に防護柵等の安全対策を実施します

補正額 **7,753万9千円**
(通学路防護柵等設置工事)

潮見、苅生町辰己山及び高嶺地区について、隣接する苅生山田地区の開発に伴い、校区変更し、通学路に**防護柵等を設置**し、安全な通学路を整備します。

【工事予定内容】

- ① ガードパイプ設置 約1,600m
- ② 道路照明灯設置
- ③ 車止め設置

【工事実施場所】

市道三好ヶ丘駒場線ほか
(みよし市潮見及び苅生町辰己山地内ほか)

【工事予定箇所】

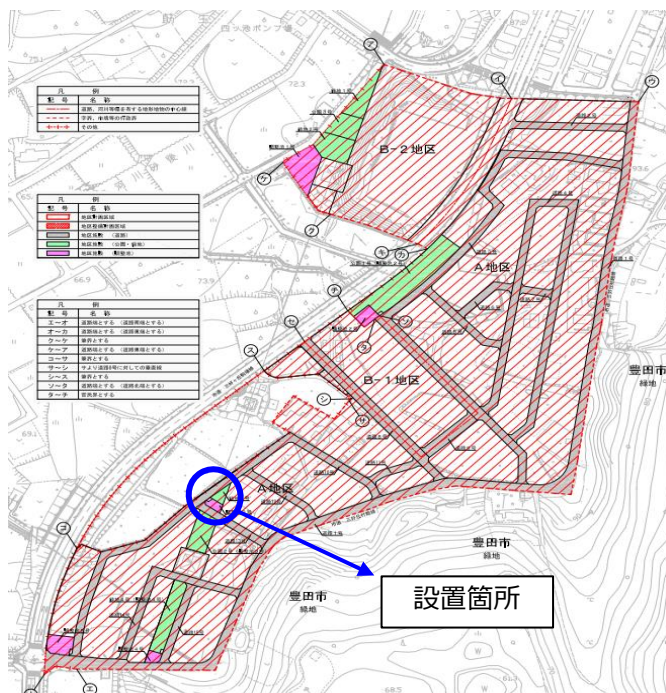


三好丘緑六丁目の開発に伴い、防災行政無線を整備します

補正額 **1,355万2千円** (防災業務無線(同報系)屋外拡声子局増設工事)

開発により新たな一団の宅地が造成された**三好丘緑六丁目**に、**防災行政無線(同報系)屋外子局**の整備を行います。

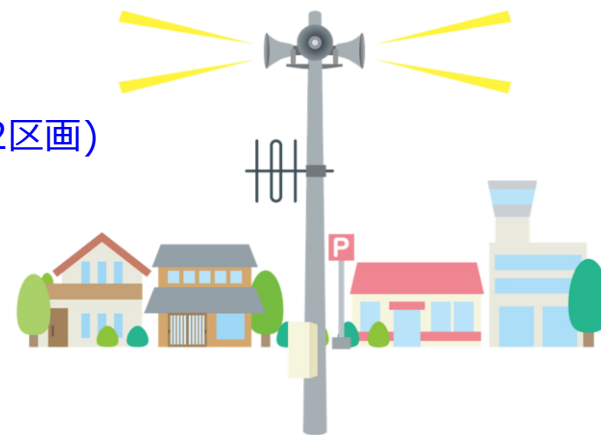
【開発区域及び設置箇所】



【開発区域概要】

開発区域 : 76,246.18㎡

開発戸数 : 195戸(店舗用地2区画)



【スケジュール】

	令和6(2024)年度					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約締結	●					
現場確認 行政区打合せ		● →				
施工			● →			

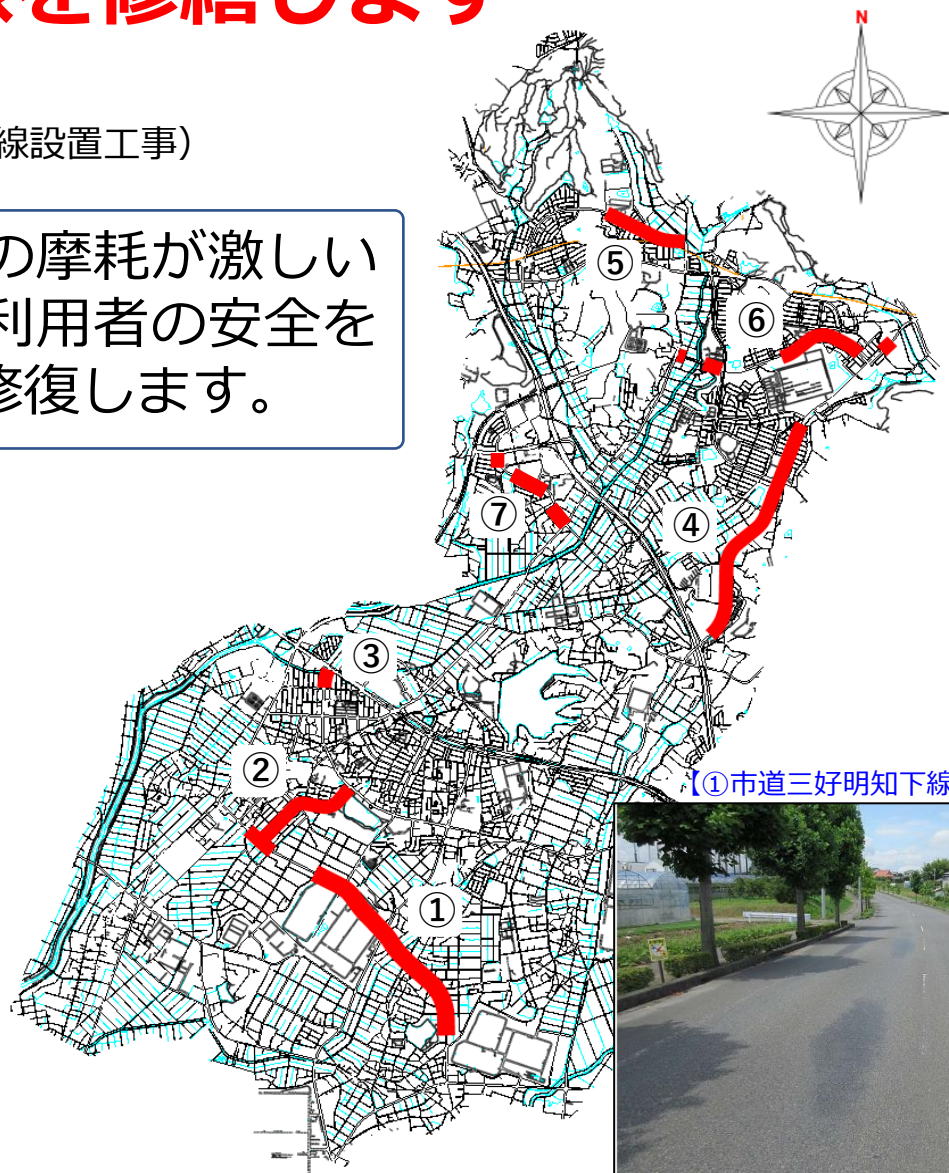
市道路線の区画線を修繕します

補正額 **2,262万円**（区画線設置工事）

交通量が多く、区画線の摩耗が激しい市道路線において、道路利用者の安全を確保するため、**区画線**を修復します。

【工事場所】

市道名
① 市道三好明知下線
② 市道三好南線
③ 市道中島線
④ 市道三好ヶ丘駒場線
⑤ 市道黒笹線
⑥ 市道福谷線
⑦ 市道インター1号線



【①市道三好明知下線の現状(参考)】



三好公園及び陣取山緑地の用地取得を行います

補正額 **1億4,972万7千円** (三好公園・陣取山緑地用地購入費)

良好で快適な都市環境を創造するために、**三好公園**及び**陣取山緑地**の用地取得を行い、地域の実情に応じた緑豊かな公園施設を整備します

【三好公園用地】

- ① 三好町火打山地内 1筆1名、A=377㎡
- ② 三好町井ノ花地内 1筆1名、A=1,888㎡



【陣取山緑地用地】

- ③ 三好町陣取山地内 2筆10名、A=337㎡



令和5(2023)年度決算に伴う決算剰余金を 財政調整基金へ積立てます

補正額 **9億7,700万円** (積立金)

地方財政法第7条の規定に基づき、決算剰余金を**財政調整基金**へ
積立てます

【令和5(2023)年度決算 一般会計実質収支】

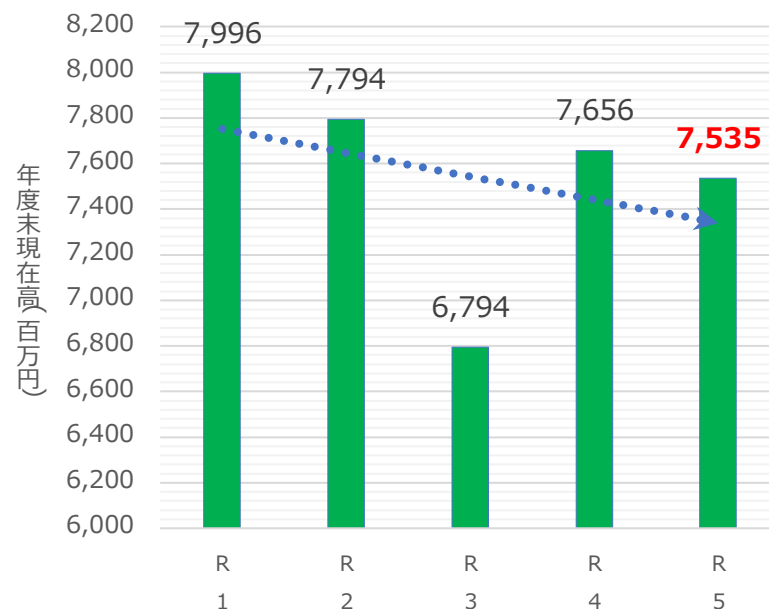
区分		金額
1 歳入総額		30,161,415,207
2 歳出総額		27,794,126,789
3 歳入歳出差引簿		2,367,288,418
4 翌年度へ繰越すべき財源	(1)継続費通次繰越額	114,230,000
	(2)繰越明許費繰越額	300,439,986
	(3)事故繰越し繰越額	0
	計	414,669,986
5 実質収支額		1,952,618,432

1/2

【財政調整基金積立額】

976,309,216円 ⇒ 令和5(2023)年度決算 977,000千円

【財政調整基金残高推移】



令和 6 (2024)年9月 記者会見



MIYOSHI CITY
みよし市

